



復活第73回（通算93回）

H I 盃 選手権 試合

全 三 菱 庭 球 大 会

2024年10月25日（金）・26日（土）・27日（日）

MUFGパーク

明治安田 グリーンランドコート

東京海上日動 多摩コート

三 菱 庭 球 同 好 会

## 目 次

ご挨拶 .....	1
HI盃選手権試合と全三菱庭球大会について .....	2
HI盃NAVI 2024(第9回) .....	3
HI盃選手権試合・全三菱庭球大会開催要項 .....	4
諸注意事項 .....	8
大会次第 .....	9
HI盃選手権試合、女子シングルストーナメント組合せ .....	10
男子・女子ダブルストーナメント組み合わせ .....	11
140オトーナメント組合せ .....	12
120オトーナメント組合せ .....	13
東西対抗試合組合せ .....	14
コート時間割 .....	15
大会会場・懇親会会場案内図 .....	18
2023年度 第72回大会 優勝者・100周年特別展示 .....	22
HI盃選手権試合・全三菱庭球大会戦績表 .....	24

### 開会式への参加のお願い

第3日(10/27)出場予定の選手は、8:30からMUFG  
パークにて開会式を行いますので、必ずご参集ください。

## ご挨拶

三菱庭球同好会  
会長 隅修三



今年度より三菱庭球同好会会長の襷を大宮さんから受け継いだ隅です。大宮前会長には、これまで7年間の長きに亘り、本大会の発展に多大なご尽力をいただき、誠にありがとうございました。この間、台風とコロナで3年間の中止を余儀なくされましたが、困難な時期を乗り越え、特に昨年はHI盃100周年記念大会を成功させ、1世紀に亘る伝統を継承してくださいました。心から御礼申し上げます。

私は、学生時代はボートに情熱を燃やし、その後もラグビーやスキーといった多様なスポーツに打ち込んできました。テニスは若い頃に嗜んだ程度ですが、会長をお引き受けしましたのを機に、5月に岩崎様ご夫妻を当社のコートにお招きし、久々にプレーをいたしました。最初は、「ボールはどこへいくのやら」の状態でしたが、ボールを打つあの爽快感を50年振りに味わうことができました。最近、シューズとラケットも新調して、当社実業団メンバーとAfter 5 テニスに行くなど、更にテニスへの情熱に火が着きつつあります。

本大会についてお話しを伺い、シニア、ミドル、ヤングがそれぞれの種目で強さを追求するとともに、会社・世代を超えた交流で、調和を図りながら発展してきたユニークな大会であるとの印象を受けました。その根底にはHorizontal Integration＝三菱グループの連携と処事公明＝フェアプレーという素晴らしい大会精神があるからだと思う次第です。

私は、自身のテニスの技量はさておき、これまで培ったスポーツの経験をもとに、2世紀目に突入した本大会がより良い形に進化できるように、これから皆さんと一体感をもって取り組んで参りたいと思っております。どうぞよろしく願いいたします。

今年も皆様の熱戦により素晴らしい大会になりますことを祈念するとともに、大会関係の皆様と幹事会社のふそう、自動車、郵船及び会場を提供いただいた銀行、生命、海上各社に感謝申し上げます、大会挨拶といたします。

## HI盃選手権試合と全三菱庭球大会について

HI盃選手権試合の歴史は、1922年(大正11年)にまで遡ります。

この年の10月、ロンドンにご外遊中の岩崎彦禰太様から三菱倶楽部庭球部に銀製カップが寄贈され、そのイニシャルをいただき、「H.I.ロンドンカップ」と名付けられました。翌1923年(大正12年)、このHI盃を争って第1回全三菱男子シングルス試合(HI盃選手権試合)が開催されました。その後、毎年定例の行事として挙行され、今年で101回を迎えます。

これに先立ち、関東関西戦が1916年(大正5年)から開催されており、本大会は今年で108年目を迎えます。1952年(昭和27年)の復活第1回HI盃選手権試合／東西対抗戦(戦争の為1943年(昭和18年)から中断)に際しては、新たに「100オトーナメント(45才以上ダブルス)」(以降105才、110才及び115才を経て現在では「120オトーナメント」)が加えられました。1972年(昭和47年)には、岩崎操子様よりカップが寄贈され、「女子ダブルス選手権試合」が設けられました。1983年(昭和58年)には、岩崎寛禰様よりカップが寄贈され、65才以上のペアによる「130オトーナメント」(2013年(平成25年)から「140オトーナメント」に変更)が設けられました。2006年(平成18年)には、三菱庭球同好会名で「男子ダブルス選手権試合」が設けられました。そして、2014年(平成26年)に、岩崎美智子様より優勝盃が寄贈され、「女子シングルス選手権試合」が設けられ、男女とも同じ種目の整備が完了しました。

これらのHI盃選手権試合を中心とした各種目庭球試合の総称が「全三菱庭球大会」であり、現在では、三菱企業グループ25社が参加し、各地区の予選も含め、全国的なレベルでますます盛んに繰り広げられています。



第1回HI盃(大正12年東京・染井コート)



## HI盃NAVI 2024 (第9回)

### 岩崎彦彌太様と寛彌様

今年はHI盃選手権が第2世紀スタートの年です。

また、創設者の彦彌太様の御遺志を受けて、本大会を見守り続けて下さった岩崎寛彌様の17回忌の年でもあります。HI盃復活50周年の際、寛彌様が語られた彦彌太様の思い出話の一部を紹介します。



寛彌様

- ✓ 娘達は父親とくっついていましたが息子とは距離があり、まともに話した事はあまりありませんでした。父は三菱本社の副社長でしたが、実業家というより、仕事はどっしり構えて趣味の世界を楽しんでいました。趣味が沢山あり、友達も沢山いて、特にスポーツは色々していましたがテニスに一番熱心で、テニス仲間と一番仲が良かったと思います。午後になると、テニスコートには地所の石井さん、大淵さん、東京海上の諸戸さん、重工の馬場さんなどの若い人達がいつも来ておられました。
- ✓ 父の人生は、副社長から公職追放へと戦後を境に大きく二つに分かれる事になりましたが、テニス、馬、鉄砲、金魚、盆栽等の趣味は一貫して続けていたし、三菱という大きなグラウンドの上で悠然と楽しんでいました。特にテニスはその中心で、HIカップを一番喜んでいたのは事実です。三菱のテニスは一流選手を中心に、基本的ルールがハッキリしており、高い水準がありました。そして、その上に同好会があったので三菱のテニスは本格的という事で通っていたと思います。馬は大掛かりだが、テニスで良い馬というのは強いパートナーの事であり、父は良い馬を先に入れてしまい、山岸さん、石井さん、川尻さんにはタダで大分お世話になりました。テニスは人間の付き合いとして一番楽しい世界だった様です。又、家にはキツキやフクロウがいましたが、キツキは、農園の山から“穴を空けた中に子供のいる木ごと”上と下を切って運び、金網小屋を作って飼っていました。
- ✓ 当時の思い出ですが、家のテニスコートには石井さんをはじめ、毎日若い人達がプレイされておられ、夜になると会社を終わった方々も合流し、毎晩宴会がありました。6時から7時半頃までが1次会で、その後新橋へ繰り出していました。それで夜中に帰ってくるのですから、父親と話をした事は殆どありません。でも、酔っ払って帰ってきてもジュウタンのインクのシミを見つけたりする細かい所もあり、その時の「インク振ったろ」「振ってない」くらいが親子のカンパセッションでした。父の“オールドパー”の入った戸棚にはいつも2つ鍵がかかっていましたが、すきを見てサントリーの角ビンと中身を少し入れ替えたりしていました。
- ✓ 父は、よく人を飲み倒しては「勝った、勝った」と喜んでいました。
- ✓ HIカップは中心に一流の人達がいて、その上に同好会があります。そうでないと、遊びになってしまいます。スポーツとして厳格なところが必要だし、しかもアマチュアであり、その基本をしっかり学び、キチンとした基盤をもって今後も運営して行って頂きたいと思っています。

(HI盃復活50周年記念誌『三菱庭球の歩み』より)

## HI盃選手権試合・全三菱庭球大会開催要項

幹事会社            日本郵船株式会社  
                          三菱自動車工業株式会社  
                          三菱ふそうトラック・バス株式会社

### 1. 大会日程

日 程	種 目 等	会 場	集合時間等
第 1 日 10月25日 (金)	[140才・120才ダブルス] ブロック別リーグ戦	海上 多摩コート (120才ダブルス)  生命 グリーンランドコート (140才ダブルス)	試合開始15分前
第 2 日 10月26日 (土)	[HI盃・女子シングルス] 1回戦 [男子ダブルス] ブロック別リーグ戦 [女子ダブルス] ブロック別リーグ戦 [140才・120才ダブルス] 決勝トーナメント1回戦・2回戦	MUFGパーク	試合開始30分前
第 3 日 10月27日 (日)	[HI盃・女子シングルス] 準決勝・決勝 [男子ダブルス] 決勝トーナメント1回戦・準決勝・決勝 [女子ダブルス] 決勝トーナメント準決勝・決勝 [140才・120才ダブルス] 準決勝・決勝 [東西対抗試合]・[特別試合]	MUFGパーク	試合開始30分前
	懇親会	吉祥寺エクセル ホテル東急	17:30開始

※コート割、開始時間、会場案内はP15～P21をご参照ください。

## 2. 役 員

委 員 長:	三菱庭球同好会 会長 隅 修 三 (東京海上日動)	
副 委 員 長:	長 澤 仁 志 (日本郵船) 加 藤 隆 雄 (三菱自動車工業) 松 永 和 夫 (三菱ふそうトラック・バス)	
同好会相談役:	畔 柳 信 雄 (三菱UFJ銀行) 大 宮 英 明 (三菱重工業)	
審 判 長:	武 田 彰 (三菱商事)	
副 審 判 長:	牧 村 祐 一 (三菱重工業)	
HI 盃委員:	明 樂 裕 (東京海上日動)	松 岡 信 幸 (三菱電機)
	広 瀬 正 典 (三菱ケミカルグループ)	高 瀬 敏 郎 (三菱マテリアル)
	野 村 利 明 (三菱自動車工業)	南 秀 明 (三菱UFJ銀行)
	羽 島 克 利 (三菱重工業)	井 手 信 彦 (明治安田生命)
	田 村 太 郎 (三菱商事)	
HI盃地区委員:	〔関東〕奥 田 隆 裕 (三菱UFJ銀行)	〔関西〕田 中 顕 一 郎 (三菱電機)
	〔中京〕橋 本 将 和 (三菱重工業)	〔九州〕久 原 健 作 (三菱重工業)

## 3. 参 加 会 社 (25社)

AGC(株)	ENEOSホールディングス(株)	麒麟ホールディングス(株)
東京海上日動火災保険(株)	(株)ニコン	日本郵船(株)
三菱化工機(株)	三菱ガス化学(株)	三菱ケミカルグループ(株)
三菱地所(株)	三菱自動車工業(株)	三菱重工業(株)
三菱商事(株)	三菱製鋼(株)	三菱製紙(株)
三菱倉庫(株)	(株)三菱総合研究所	三菱電機(株)
三菱電線工業(株)	三菱ふそうトラック・バス(株)	三菱マテリアル(株)
(株)三菱UFJ銀行	三菱UFJ証券ホールディングス(株)	三菱UFJ信託銀行(株)
明治安田生命保険(相)	(50音順)	

#### 4. 試合方法

〔使用ボール:ダンロップフォート〕

〔コートサーフェイス:HI盃…クレークート、その他種目…オムニコート〕

種 目	資 格 等	試 合 形 式
(1)HI盃 (男子シングルス トーナメント)	前回優勝者、 地区代表(関東3、関西2、中京1、九州1)	ベストオブ3タイブレーク セットマッチ
(2)女子シングルス トーナメント	前回優勝者、 地区代表(関東5、関西1、中京1)	同 上
(3)男子ダブルス	前回優勝者、 地区代表(関東8、関西9、中京4、九州2)	予選～決勝T準決勝 8ゲームズプロセットマッチ 決勝 2タイブレークセット10ポイン トマッチタイブレーク方式
(4)女子ダブルス	前回優勝者、 地区代表(関東5、関西1、中京1)	予選 8ゲームズプロセットマッチ 決勝トーナメント 2タイブレークセット10ポイン トマッチタイブレーク方式
(5)140才トーナメント	本年、男子満68才・女子満58才以上で 合計140才(※女子1人につき10才減ず る)以上のペアによるブロック別リーグ 予選、決勝トーナメント	1タイブレークセットマッチ ※予選に限りセミアドバンテー ジ方式、ミックス同士の対戦に おいては、ディサイディングポ イントはサーバーと同性のプレ ーヤーがレシーブする。レシー バーチームはディサイディング ポイントのとき、レシーブする 隊形を変えてはいけない。
(6)120才トーナメント	本年、男子満58才・女子満48才以上で 合計120才(※女子1人につき10才減ず る)以上のペアによるブロック別リーグ 予選、決勝トーナメント	同 上
(7)東西対抗試合	東軍(関東以東)・西軍(中京以西) 男子各11組、女子各2組による対抗戦	2タイブレークセット 10ポイントマッチタイブレーク 方式
(8)特別試合	HI盃選手権出場選手および女子シングルス 出場選手によるダブルス	2タイブレークセットマッチ

## 5. ダブルスブロック内順位決定方法

### 〔男子ダブルス〕

- ① 各ブロック上位1組が決勝トーナメントに進出する。
- ② ブロック別リーグ戦において、勝率の高い方を上位とする。
- ③ 2組が同率になった場合は、直接対決の勝者を上位とする。
- ④ 3組以上が同率になった場合は、以下の要素で順位を決定する。
  - ・全試合での取得ゲーム率(%) = 全試合取得ゲーム数 ÷ 全試合ゲーム数
  - ※取得ゲーム率の計算の際、不戦勝の場合は8-0(不戦敗は0-8)で計算し、途中棄権の場合は、棄権した時点のスコアから、残りのゲームを勝利ペアが全て取ったと仮定して計算する。  
(例:A対Bの試合で、Aから5-7の時点でBが途中棄権した場合、Aが9-7で勝利したとして計算する。)
- ⑤ 上記の結果でも、3組以上が同率となった場合は、抽選により順位を決定する。

### 〔女子ダブルス〕

- ① 各ブロック上位2組が決勝トーナメントに進出する。  
その他の点については上記男子ダブルスの②～⑤項と同様。

### 〔120オダブルス〕

- ① 各ブロック上位2位が決勝トーナメントに進出する。
- ② ブロック別リーグ戦において、勝率の高い方を上位とする。
- ③ 2組が同率になった場合は、直接対決の勝者を上位とする。
- ④ 3組以上が同率になった場合は、以下の要素で順位を決定する。
  - ・全試合での取得ゲーム率(%) = 全試合取得ゲーム数 ÷ 全試合ゲーム数
  - ※取得ゲーム率の計算の際、不戦勝の場合は6-0(不戦敗は0-6)で計算し、途中棄権の場合は、棄権した時点のスコアから、残りのゲームを勝利ペアが全て取ったと仮定して計算する。  
(例:A対Bの試合で、Aから4-5の時点でBが途中棄権した場合、Aが7-5で勝利したとして計算する。)
- ⑤ 上記の結果でも、3組以上が同率となった場合は、抽選により順位を決定する。

### 〔140オダブルス〕

上記120オダブルスと同様。

## 6. その他特記事項

140オダブルス・120オダブルスについては、ブロック別リーグ予選開始前(10/24(木)17:00まで)に限り、以下の担当者へ連絡することによりペア編成の変更を認めます。  
ただし、変更後のペアは各種目の出場資格を満たしていることが必要であり、また、選手変更による出場種目の変更は出来ません。

### 【担当者】

- \*120オダブルス … OBOG世話人会 柏木(090-4757-0777)、阿部(080-5048-2434)
- \*140オダブルス … OBOG世話人会 茂木(090-2481-6076)、一政(080-2144-9501)

## 諸 注 意 事 項

### 1. コートへのアクセス、宿舎等

- (1) 各コートへの交通手段と連絡先は、P18～21をご参照ください。
- (2) 第1日・2日は専用バスを運行いたしませんので、各自お越してください。
- (3) 第3日(MUFGパーク)は専用バスを運行しますので、ご利用ください。
- (4) 会場への交通・宿舎などについては、各自にてお手配ください。
- (5) MUFGパークへの自家用車でのご来場は第2日のみ可能ですが、第3日は厳禁です。  
海上コート・生命コートは駐車場を利用できます。

### 2. 更 衣 室

各コートとも、更衣室のロッカーはご利用ができませんのでお荷物は各自で管理してください。

### 3. 試 合 進 行 等

試合進行はコート時間割に従って行ないますが、変更する場合がありますのであらかじめオーダーオブプレーにてご確認ください。近隣対策上、試合前の選手呼び出し(場内アナウンス)はいたしませんのでご注意ください。なお、個人のご都合による時間割の変更は受け付けいたしません。  
練習時間は試合進行上、HI盃、女子シングルスは5分以内、その他は3分以内といたしますので厳守願います。

### 4. 審 判

- (1) HI盃、女子シングルス、男子ダブルス、女子ダブルス、140才ダブルス、120才ダブルスの決勝は、ソロ・チェア・アンパイアがつきますが、その他の試合はセルフジャッジですのでご協力ください。
- (2) 試合結果は勝者がスコアカードに記入の上、ボールと一緒に大会本部まで届けてください。

### 5. 昼 食

- (1) 全日とも昼食の準備はありませんので、各自にてご手配ください。  
尚、第2日・第3日にMUFGパークにてキッチンカーが運営予定です。
- (2) ゴミは各自お持ち帰りください。

### 6. WO(Walk Over)

- (1) 所定の時間までに試合前受付がない場合は、原則棄権となります。
- (2) やむを得ずWOの場合は、速やかに自社の連絡員経由でご連絡ください。

### 7. 参 加 費

140才・120才ダブルス参加者は、関東地区5,000円、関東以外3,000円となります。  
その他種目の参加者は関東地区4,000円、関東以外は1,000円となりますので、それぞれ各社で取りまとめてください。後日徴収いたします。

### 8. 雨 天 時 の 対 応

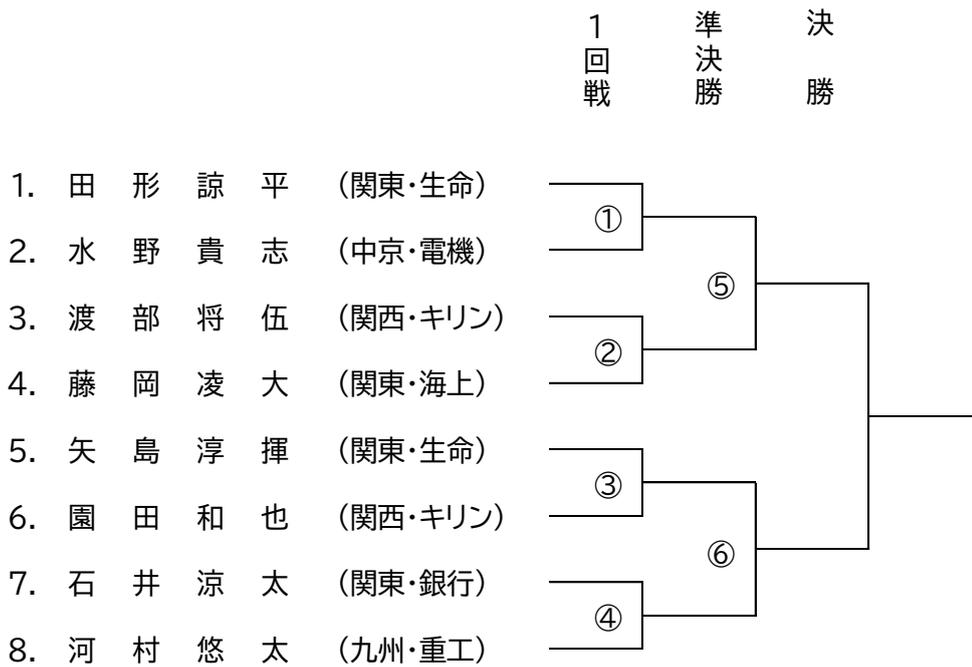
- (1) 最新情報は、同好会ホームページに掲載いたしますので、各自でご確認ください。
- (2) 10月27日(日)が雨天で試合中止となった場合は、懇親会のみ16:00から開催しますので、吉祥寺エクセルホテル東急にご集合ください。

## 大会次第 10月27日(日)

1. 開会式(MUFGパーク) ( 8:30)
  - (1) 挨拶 隅大会委員長
  - (2) 優勝盃・優勝旗返還 隅大会委員長
  - (3) 諸注意 武田審判長
2. 試合開始(コート時間割をご参照) ( 9:00)
3. 試合終了 (16:00)
4. 閉会式及び懇親会(吉祥寺エクセルホテル東急 8階アンバサダールーム) (17:30)
  - (1) 開会挨拶 隅大会委員長
  - (2) 幹事会社挨拶 長澤大会副委員長、加藤大会副委員長、松永大会副委員長
  - (3) 乾杯 加藤大会副委員長
  - (4) 表彰および優勝者挨拶
    - ① HI盃優勝者
    - ② 女子シングルス優勝者
    - ③ 男子ダブルス優勝者
    - ④ 女子ダブルス優勝者
    - ⑤ 140才ダブルス優勝者
    - ⑥ 120才ダブルス優勝者
    - ⑦ 東西対抗試合勝者
  - (5) 閉会の辞 松永大会副委員長
  - (6) 万才三唱 牧村副審判長
5. 閉会(解散) (19:00)
6. 記念撮影

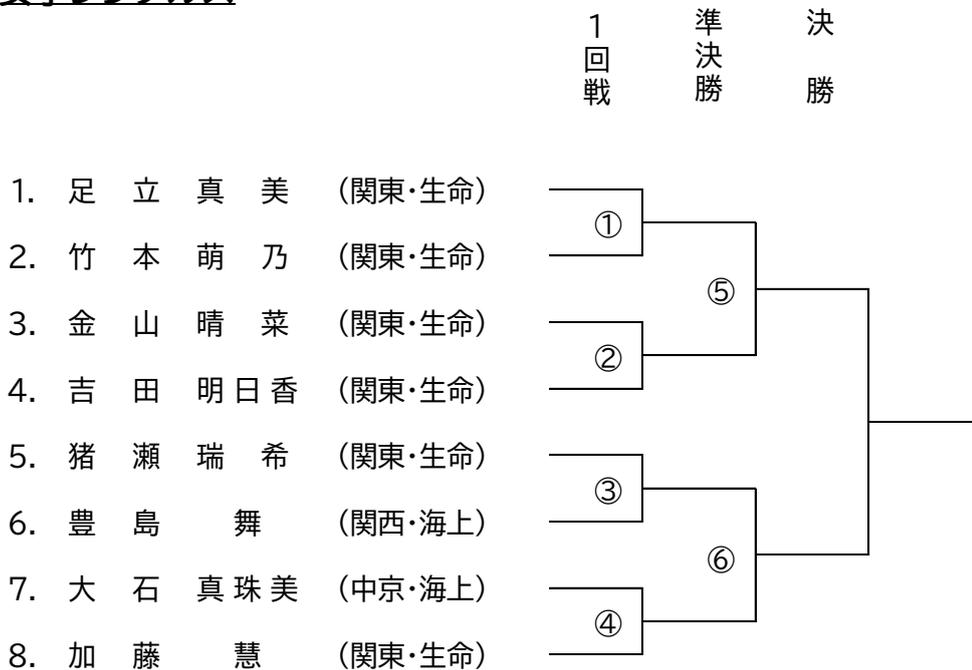
懇親会終了後、HI盃、女子シングルスの出場者、男子ダブルス、女子ダブルス、140才ダブルス、120才ダブルスの優勝・準優勝者、東西対抗試合主将および大会役員は記念撮影を行いません。

## HI盃選手権試合(男子シングルス)



1922年創設  
岩崎彦彌太氏寄贈

## 女子シングルス



2014年創設  
岩崎美智子氏寄贈  
(寛彌氏ご令室)

## 男子ダブルス

### ブロック別リーグ戦

Aブロック	1	安上・名越	(関東・海上)
	2	井手・深作	(関西・電機)
	3	江口・森岡	(九州・電機)
Bブロック	1	瀧沢・高山	(関西・電機)
	2	志賀・家邊	(関東・電機)
	3	濱田・田島	(九州・重工)
Cブロック	1	五嶋・橋本	(中京・重工)
	2	荒木・深井	(関西・電機)
	3	大橋・古田	(関東・銀行)
Dブロック	1	太田・中村	(関西・電機)
	2	伊藤・佐藤	(関東・生命)
	3	浅野・福田	(関西・自動車)
Eブロック	1	大谷・豊田	(関西・ケミカル)
	2	大石・池田	(中京・電機)
	3	菅谷・井上	(関東・海上)
Fブロック	1	香山・岡田	(関西・電機)
	2	柏木・山田	(関東・生命)
	3	岡本・大手	(中京・重工)
Gブロック	1	細江・二村	(中京・生命)
	2	菊池・中谷	(関西・電機)
	3	山口・山下	(関東・ENEOS)
Hブロック	1	保坂・庄司	(関西・電機)
	2	田村・副田	(関東・生命)
	3	白石・巽	(関東・マテ)



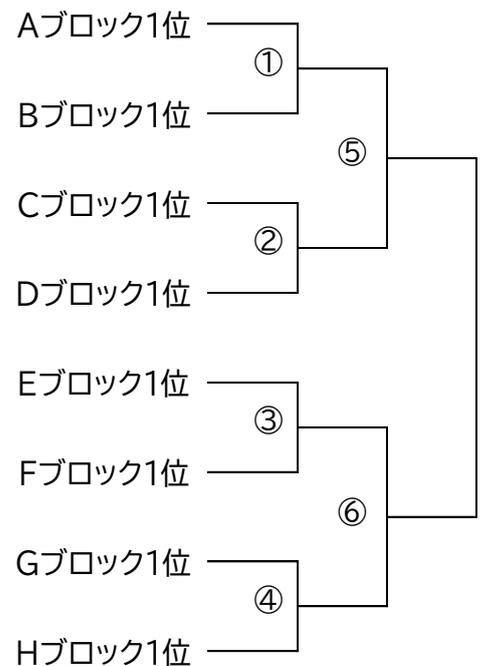
### 決勝トーナメント

2006年創設  
三菱庭球同好会

1  
回  
戦

準  
決  
勝

決  
勝



## 女子ダブルス

### ブロック別リーグ戦

Aブロック	1	後藤・梶原	(関東・銀行/自動車)
	2	渡邊・川内	(関東・地所)
	3	守屋・福岡	(中京・重工)
	4	左藤・中村	(関東・生命)
Bブロック	1	清水・中村	(関東・生命)
	2	金子・三浦	(関東・生命)
	3	中村・野崎	(関西・電機)
	4	下地・波多野	(関東・海上)

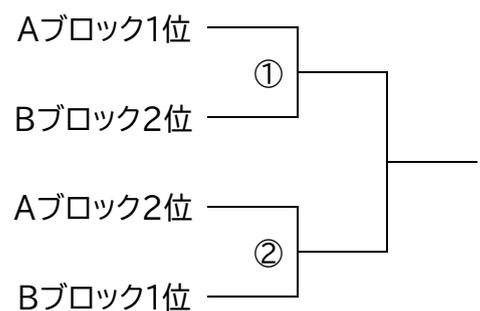


### 決勝トーナメント

1972年創設  
岩崎操子氏寄贈  
(彦彌太氏令室)

準  
決  
勝

決  
勝



# 140オダブルス



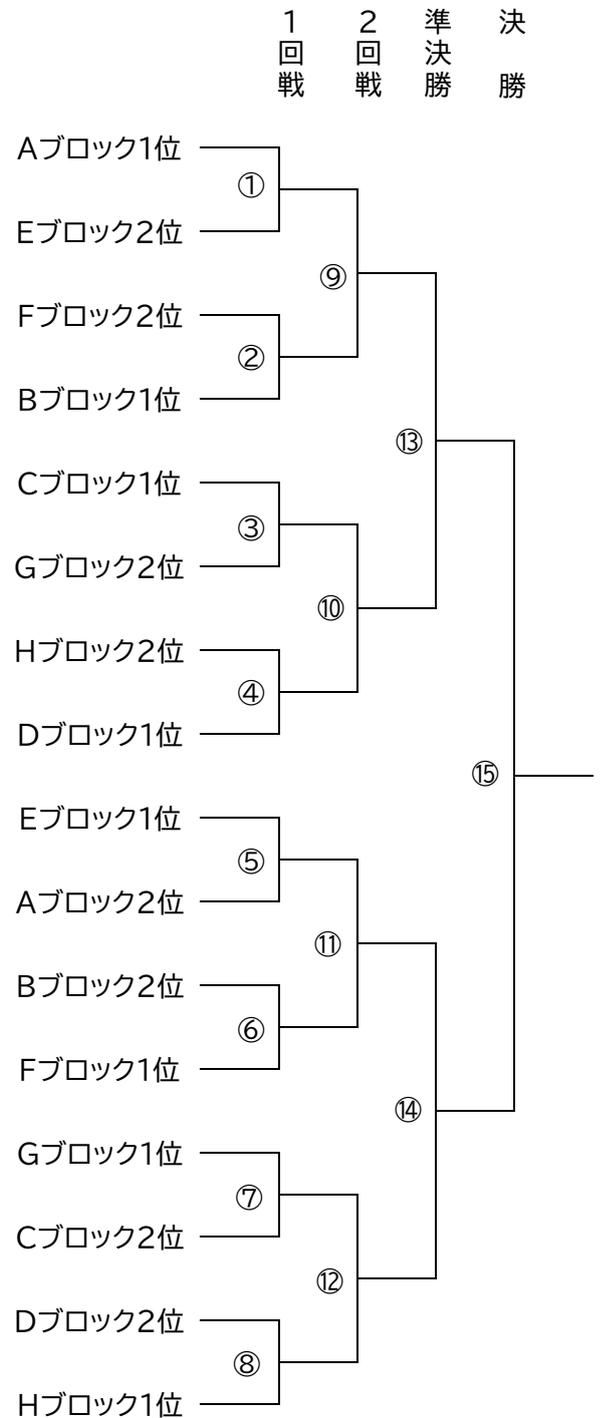
1983年創設  
岩崎寛彌氏寄贈  
(彦彌太氏令息)

## ブロック別リーグ戦

Aブロック	1	小宮・安川	(商事)
	2	山本・笠原	(銀行)
	3	福寺・村松	(信託)
	4	淀川・比原	(重工)
Bブロック	1	加藤・東城	(電機・海上)
	2	田中・西海	(マテリアル)
	3	半田・内藤	(AGC)
	4	盛・武田	(商事)
Cブロック	1	君塚・海老名	(海上)
	2	二木・田中	(自動車)
	3	岡本・永桶	(商事)
	4	桑田・箱崎	(信託)
Dブロック	1	田畑・佐々木	(重工)
	2	田村・朝倉	(商事)
	3	太田・天目	(信託)
	4	吉田・松永	(ふそう)
Eブロック	1	石井・佐藤	(海上)
	2	木村・渡邊	(商事)
	3	早乙女・服部	(重工)
	4	岩淵・下村	(マテリアル)
Fブロック	1	西・花生	(商事)
	2	米田・久保	(マテリアル)
	3	横山・国房	(重工・商事)
	4	横尾・大塩	(銀行)
Gブロック	1	鈴木・西岡	(生命・海上)
	2	唐澤・宮村(*)	(商事)
	3	茂木・井口(*)	(銀行)
	4	有馬・保坂(*)	(商事)
Hブロック	1	勇内・志賀	(電機)
	2	一政・沓掛	(重工・ふそう)
	3	毎野・野田	(商事)
	4	今西・佐久間	(商事)

※ (\*)は女子

## 決勝トーナメント



# 120オダブルス



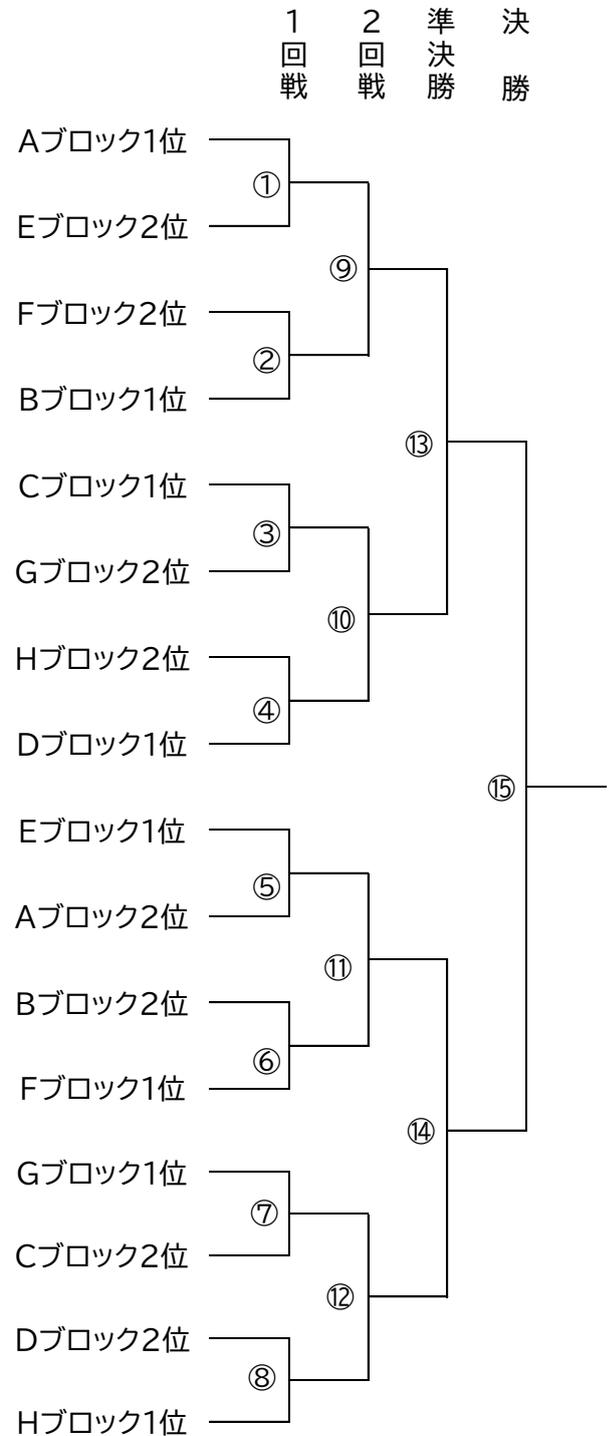
1952年創設  
岩崎彦彌太氏寄贈

## 決勝トーナメント

### ブロック別リーグ戦

Aブロック	1	矢野・広瀬	(ケミカル)
	2	稲森・今井	(自動車)
	3	箸本・山岸	(商事)
	4	直木・木村	(電機)
Bブロック	1	金子・西田	(商事・自動車)
	2	牧浦・神保	(信託)
	3	吉田・峰	(重工)
	4	乙川・山本	(マテリアル)
Cブロック	1	野村・野村(*)	(自動車・電機)
	2	唐澤(*)・柳原(*)	(商事)
	3	生川・西村(*)	(ケミカル・自動車)
	4	松山・松山(*)	(銀行)
Dブロック	1	山室・岡田	(海上)
	2	高橋・三好	(生命・ケミカル)
	3	飯泉・羽田	(重工)
	4	矢部・山崎	(商事)
Eブロック	1	宮地・間野	(重工)
	2	中山・岡田	(電機)
	3	田中・関	(商事)
	4	高野・酒徳	(生命・ケミカル)
Fブロック	1	黒井・小島	(商事)
	2	宮下・鳩原	(電機)
	3	吉澤・柘植	(マテリアル)
	4	阿部・磯田	(海上)
Gブロック	1	柏木・安福	(商事・電機)
	2	酒井・岸	(信託)
	3	竹下・堤	(ケミカル・海上)
	4	小川・伊藤	(重工)
Hブロック	1	安徳・加藤	(自動車)
	2	松岡・遠藤	(電機)
	3	青木・牧村	(キリン・重工)

※(\*)は女子



# 東西対抗試合

東 軍

西 軍

<男子ダブルス>

- |     |                              |   |                              |
|-----|------------------------------|---|------------------------------|
| 1.  | { 野田 (生命)<br>徳本 (生命) }       | - | { 鈴木 (マテリアル)<br>目黒 (マテリアル) } |
| 2.  | { 星村 (生命)<br>高山 (生命) }       | - | { 北川 (海上)<br>星木 (海上) }       |
| 3.  | { 有松 (マテリアル)<br>加藤 (マテリアル) } | - | { 片岡 (自動車)<br>橋野 (自動車) }     |
| 4.  | { 佐藤 (銀行)<br>松山 (銀行) }       | - | { 平岡 (ケミカル)<br>白木 (ケミカル) }   |
| 5.  | { 大和田 (海上)<br>釘宮 (海上) }      | - | { 和氣 (自動車)<br>松尾 (自動車) }     |
| 6.  | { 高橋 (銀行)<br>高山 (銀行) }       | - | { 吉田 (マテリアル)<br>佐川 (マテリアル) } |
| 7.  | { 吉川 (ふそう)<br>Kaszas (ふそう) } | - | { 塚本 (銀行)<br>関口 (銀行) }       |
| 8.  | { 大林 (自動車)<br>日高 (自動車) }     | - | { 田中 (電機)<br>天清 (電機) }       |
| 9.  | { 佐藤 (化工機)<br>森川 (化工機) }     | - | { 有光 (自動車)<br>井本 (自動車) }     |
| 10. | { 吉川 (ふそう)<br>田村 (ふそう) }     | - | { 溝口 (自動車)<br>森 (ENEOS) }    |
| 11. | { 田川 (自動車)<br>佐藤 (自動車) }     | - | { 西脇 (マテリアル)<br>中根 (マテリアル) } |

<女子ダブルス>

- |    |                         |   |                        |
|----|-------------------------|---|------------------------|
| 1. | { 粉川 (銀行)<br>玉谷 (銀行) }  | - | { 大竹 (生命)<br>松下 (生命) } |
| 2. | { 丹 (自動車)<br>池部 (自動車) } | - | { 市川 (海上)<br>一木 (海上) } |



1952年創設  
三菱庭球同好会

<特別試合>

男子ダブルス  
{ } - { }

女子ダブルス  
{ } - { }

## 第1日(10月25日)コート時間割

生 命 コ ー ト							
集合	試合開始	4	5	6	7	8	9
9:15	9:30	140オブブロックリーグ(A,B,C,D,E,F,G,H)					
		A1・2	A3・4	B1・2	B3・4	C1・2	C3・4
9:55	10:15	140オブブロックリーグ(A,B,C,D,E,F,G,H)					
		D1・2	D3・4	E1・2	E3・4	F1・2	F3・4
10:35	10:55	140オブブロックリーグ(A,B,C,D,E,F,G,H)					
		A1・3	A2・4	G1・2	G3・4	H1・2	H3・4
	11:35	140オブブロックリーグ(A,B,C,D,E,F,G,H)					
		D1・3	D2・4	B1・3	B2・4	C1・3	C2・4
	12:15	140オブブロックリーグ(A,B,C,D,E,F,G,H)					
		G1・3	G2・4	E1・3	E2・4	F1・3	F2・4
	12:55	140オブブロックリーグ(A,B,C,D,E,F,G,H)					
		A1・4	A2・3	B1・4	B2・3	H1・3	H2・4
	13:35	140オブブロックリーグ(A,B,C,D,E,F,G,H)					
		D1・4	D2・3	E1・4	E2・3	C1・4	C2・3
	14:15	140オブブロックリーグ(A,B,C,D,E,F,G,H)					
		G1・4	G2・3	F1・4	F2・3	H1・4	H2・3

海 上 コ ー ト							
集合	試合開始	1	2	3	4	5	6
9:15	9:30	120オブブロックリーグ(A,B,C,D,E,F,G,H)					
		A1・2	A3・4	B1・2	B3・4	C1・2	C3・4
9:55	10:15	120オブブロックリーグ(A,B,C,D,E,F,G,H)					
		D1・2	D3・4	E1・2	E3・4	F1・2	F3・4
10:35	10:55	120オブブロックリーグ(A,B,C,D,E,F,G,H)					
		A1・3	A2・4	G1・2	G3・4	H1・2	C2・4
	11:35	120オブブロックリーグ(A,B,C,D,E,F,G,H)					
		D1・3	D2・4	B1・3	B2・4	C1・3	F2・4
	12:15	120オブブロックリーグ(A,B,C,D,E,F,G,H)					
		E1・3	E2・4	G1・3	G2・4	F1・3	H1・3
	12:55	120オブブロックリーグ(A,B,C,D,E,F,G,H)					
		A1・4	A2・3	B1・4	B2・3	C1・4	C2・3
	13:35	120オブブロックリーグ(A,B,C,D,E,F,G,H)					
		E1・4	H2・3	D1・4	D2・3	F1・4	F2・3
	14:15	120オブブロックリーグ(A,B,C,D,E,F,G,H)					
		/	E2・3	G1・4	G2・3	/	/

## 第2日(10月26日)コート時間割

		M U F G パ ー ク										
時間	コートNo.	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
9:00		HI盃(1回戦)			140才(1回戦)							
	9:30				①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧
10:00		②	①		120才(1回戦)				120才(2回戦)			
	10:30				⑨	⑩	⑪	⑫	⑨	⑩	⑪	⑫
11:15		HI盃(1回戦)			女子シングルス(1回戦)				男子ダブルス(ブロックリーグ)			
	11:15	④	③		①	②	③	④	A1-A2	B1-B2	C1-C2	D1-D2
12:00					女子ダブルス(ブロックリーグ)				男子ダブルス(ブロックリーグ)			
	12:00				A1-A2	A3-A4	B1-B2	B3-B4	A1-A3	B1-B3	C1-C3	D1-D3
12:45					女子ダブルス(ブロックリーグ)				男子ダブルス(ブロックリーグ)			
	12:45				A1-A3	A2-A4	B1-B3	B2-B4	E1-E3	F1-F3	G1-G3	H1-H3
13:30					女子ダブルス(ブロックリーグ)				男子ダブルス(ブロックリーグ)			
	13:30				A1-A4	A2-A3	B1-B4	B2-B3	A2-A3	B2-B3	C2-C3	D2-D3
14:15									男子ダブルス(ブロックリーグ)			
	14:15								E2-E3	F2-F3	G2-G3	H2-H3
15:00												
15:30		フリーコート ※希望者は、当日会場でサインアップ願います。										
16:00												

### 第3日(10月27日)コート時間割

M U F G パ ー ク												
時間	コートNo.	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
8:30	<b>開会式(必ずご参加ください)</b>											
9:00	HI盃 (準決勝)	HI盃 (準決勝)		女子S (準決勝)	男子D (1回戦)	女子S (準決勝)	男子D (1回戦)			女子ダブルス (準決勝)		
9:30					①		②	③	④			
10:00	⑥	⑤		⑤	140才D (準決勝)	⑥	140才D (準決勝)	120才ダブルス (準決勝)		①	②	
10:30					③		⑭	⑬	⑭			
11:00				男子D (準決勝)		男子D (準決勝)	東西対抗 男子D					
11:30				⑤	⑥	1	2	4	7	8		
12:00							東西対抗 男子ダブルス			特別試合		
12:30								3	11	120才 ダブルス (決勝)	男子 ダブルス	女子 ダブルス
13:00						140才 ダブルス (決勝)	東西対抗 男子ダブルス			東西対抗 男子D	東西対抗 男子D	
13:30									5	6	9	10
14:00				女子 シングルス (決勝)			懇親試合			男子 ダブルス (決勝)	東西対抗 女子D	東西対抗 女子D
14:30				HI盃 (決勝)						女子 ダブルス (決勝)	1	2
15:00							懇親試合			懇親試合		
15:30												
16:00	<p>○注意事項</p> <p>1.出場選手は必ず開会式にご参加ください。ただし、東西対抗出場選手等で当日移動の方は除きます。</p> <p>2.練習時間は試合進行上、HI盃および女子シングルスは5分以内、その他は3分以内といたしますので厳守ください。</p> <p>3.進行は本部横に掲示いたしますので、各自前広にご確認ください。</p> <p>4.大会役員の方は、11:30よりクラブハウス2階にて昼食会を行います。</p> <p>HI盃および女子シングルス出場選手は選手紹介を行いますのでご参集ください。</p> <p>5.懇親試合をご希望の方は大会本部までお申し出ください。</p>											
16:30												
17:00												
17:30												
18:00	<b>懇 親 会</b>											
18:30	<b>( 於 吉祥寺エクセルホテル東急 )</b>											
19:00												

# 大会会場案内図(1) 《MUFGパーク》

東京都西東京市柳沢4-4-40  
TEL: 042-452-3125

## ●10/26(土) 会場へのアクセス

<バス>

三鷹駅北口から関東バスをご利用ください。  
3番バスのりばから「鷹30, 33, 34」に乗車、  
「武蔵野大学」で下車してください(約20~25分)。

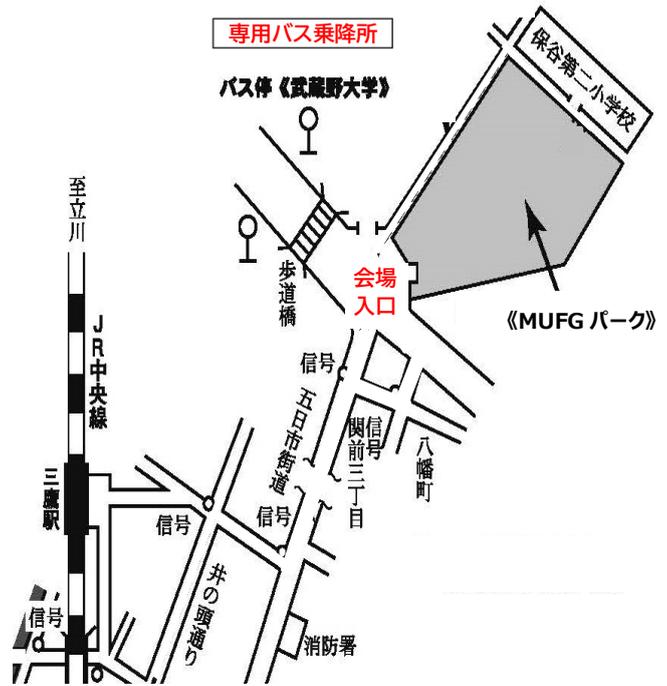
<自家用車>

東ゲートより入場し、有料駐車場に駐車願います。  
(10/26(土)のみ選手・応援関係者も利用可能です。)

## ●10/27(日) 会場へのアクセス

下表のとおり専用バス(各便とも大型1台)を運行  
しますので、ご利用ください。<自家用車不可>

発車		到着	
7:40	三鷹駅	7:50	MUFGパーク
7:50	三鷹駅	8:00	MUFGパーク
8:00	三鷹駅	8:10	MUFGパーク
8:10	三鷹駅	8:20	MUFGパーク
15:50	MUFGパーク	16:15	吉祥寺エクセルホテル東急
16:00	MUFGパーク	16:25	吉祥寺エクセルホテル東急
16:40	MUFGパーク	17:05	吉祥寺エクセルホテル東急
16:50	MUFGパーク	17:15	吉祥寺エクセルホテル東急



## 【MUFGパーク 駐車場アクセス方法詳細】

- ・27日(日)の駐車場の使用は、**各社役員、来賓、大会役員**の車に限定させていただきます。
- ・運転手の方は、駐車券を本部へお持ちください。  
(幹事にて精算処理を行います)
- ・パークからの帰路は、駐車場出口からの道路が一方通行のため、**右折しかできません**のでご注意ください。
- ・当局からの強い指導により周辺道路への違法駐車等は厳に慎んでください。



## ●選手の皆さんへお願い

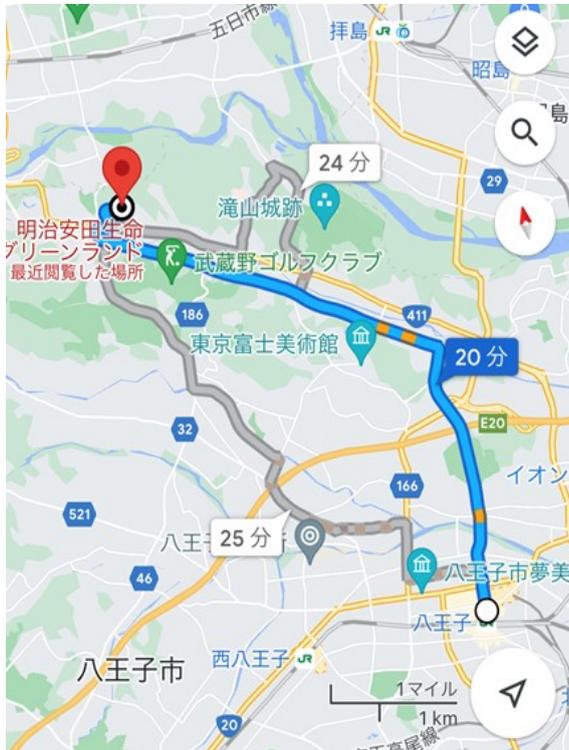
- ・MUFG パークでの大会時の配置は以下のとおりです。
- ・メイン(南)ゲート・東ゲート(駐車場用。10/26(土)のみ選手・応援関係者も利用可)からご入場ください。西・北ゲートは終日閉鎖されておりますのでご注意ください。
- ・10/26(土)はテニスコート・クラブハウス以外の施設を一般の方が利用します。一般の方の活動に支障をきたさないように、ご配慮とご協力をお願いします。同日は待機エリアを利用できません。また、更衣室・シャワー、トイレ等は原則クラブハウスの設備をご利用ください。
- ・10/27(日)はパーク全体を貸し切りとしております。
- ・試合進行はコート時間割に従って行ないますが、変更する場合がありますのであらかじめオーダーオブプレーにてご確認ください。
- ・近隣対策上、試合前の選手呼び出し(場内アナウンス)はいたしませんのでご注意ください。



## 大会会場案内図(2)

### 《明治安田グリーンランドテニスコート》

<八王子駅から車で明治安田グリーンランドまでの行き方>  
所要時間:約20分



<戸吹停留所から徒歩で明治安田グリーンランドまでの行き方>  
所要時間:約8分



◆名称:明治安田グリーンランド

◆住所:東京都八王子市戸吹町150(042-691-1751)

◆施設:テニスコート、クラブハウス(男女各シャワー室、更衣室)

◆交通

①車

八王子駅から約20分

※駐車場あり

②バス

JR八王子駅12番乗り場、京王八王子駅4番乗り場から西東京バス

・【ひ01】系統 戸吹行き、又は【ひ07】系統 秋川行き、

又は【ひ08】系統 戸吹スポーツ公園入口行き乗車(約30分)、戸吹停留所下車徒歩8分

JR五日市線秋川駅2番乗り場から西東京バス

・【ひ07】系統 京王八王子駅行き(約25分)戸吹停留所下車徒歩8分

③タクシー

JR五日市線秋川駅から10分程度

秋川交通:電話:042-558-7411

# 大会会場案内図(3)

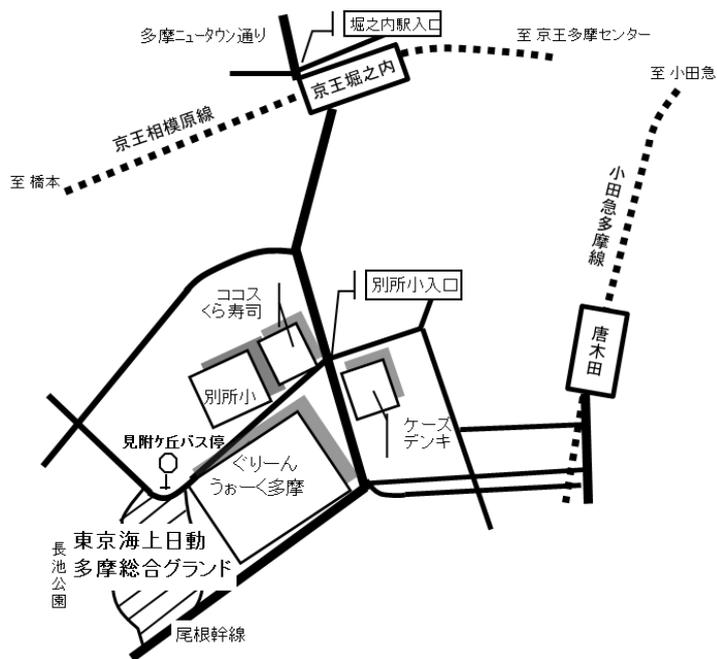
## 《東京海上日動多摩総合グラウンド》

八王子市別所2-57

TEL 0426-77-8619

- ① 京王相模原線  
「京王堀之内」駅よりバス  
「見附橋循環」のりば④番)  
にて「見附ヶ丘」下車
- ② 京王相模原線  
「京王堀之内」駅  
または小田急多摩線  
「唐木田」駅より  
タクシー利用

マイカーでご来場できます

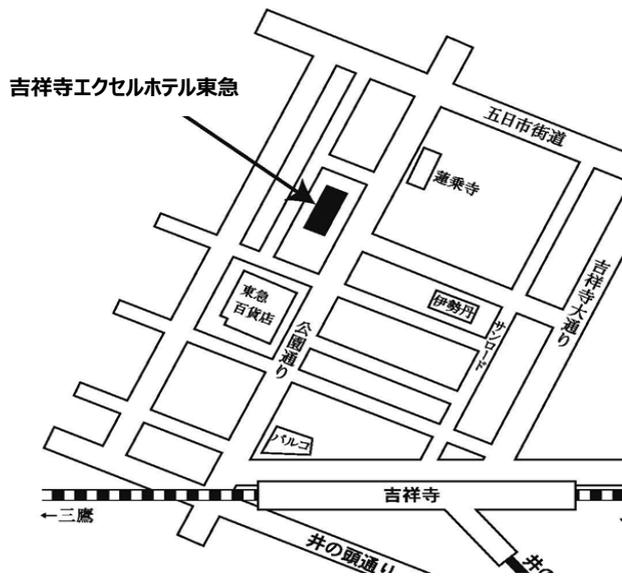


## 懇親会 会場案内図

吉祥寺エクセルホテル東急

8F宴会場「アンバサダールーム」

- ・地下駐車場は、大会役員、来賓のみ利用できます。
- ・1F玄関前は混雑しますので、懇親会閉会後は速やかに移動願います。



## 2023年度 第72回 優勝者

< >内はプレゼンター



HI盃 田形諒平選手(生命)  
<岩崎俊吉様>



女子シングルス 足立真美選手(生命)  
<岩崎早穂様>



男子ダブルス 安上・名越ペア(海上)  
<畔柳相談役>



女子ダブルス 米原・清水ペア(生命)  
<半沢頭取(銀行)>



140オトーナメント 田畑・牧村ペア(重工)  
<永島社長(生命)>



120オトーナメント 福田・間野ペア(重工)  
<松永常務(商事)>



東西対抗 東軍  
<明樂常務(海上)>

## 2023年度 HI盃100周年特別展示



岩崎彦彌太様メモリアルブース

# HI 盃選手権試合・全三菱庭球大会戦績表

I. 復活前

回数	年度	開催地	委員長	HI盃	関東関西戦	
					回数	勝者
	1916 大正5	神戸			1	雨天の為中止
	1917 大正6	東京			2	記録なし
	1918 大正7	神戸			3	米騒動の為中止
	1919 大正8	名古屋			4	記録なし
	1920 大正9	名古屋			5	記録なし
	1921 大正10	東京			6	関東
	1922 大正11	名古屋		10月カップ創設 軟式から硬式へ	7	記録なし
1	1923 大正12	東京	河手捨二 (商事取締役)	岩永侃爾(門司・鉱業)	8	関西 7-5
2	1924 大正13	神戸	山口泉吉 (重工神戸造船所長)	青木岩雄(東京・銀行)	9	関東 9-6
3	1925 大正14	名古屋	松本辰三郎 (内燃名古屋製作所長)	扇山正男(名古屋・内燃)	10	関東 9-4
4	1926 大正15	東京	荘田達弥 (造船研究所長)	岩永侃爾(東京・鉱業)	11	関東 12-3
5	1927 昭和2	神戸	徳大寺則麿 (重工神戸造船所長)	青木岩雄(東京・銀行)	12	関東 10-5
6	1928 昭和3	東京	三好重道 (製鉄取締役)	神田道朝(関西・保険)	13	関東 8-7
7	1929 昭和4	神戸	山室宗文 (銀行常務取締役)	青木岩雄(関東・銀行)	14	関西 10-5
8	1930 昭和5	東京	荘田達弥 (造船研究所長)	牧野 元(関東・航空)	15	関東 8-6, 1分
9	1931 昭和6	神戸	徳大寺則麿 (重工神戸造船所長)	牧野 元(関東・航空)	16	関西 12-2, 1分
10	1932 昭和7	東京	三好重道 (製鉄取締役)	志村彦七(中京・航空)	17	関西 8-7
11	1933 昭和8	神戸	田中金之助 (倉庫取締役)	後藤 長(中京・航空)	18	関西 12-3
12	1934 昭和9	名古屋	本間亀吉 (電機名古屋製作所長)	後藤 長(中京・重工)	19	関東 11-4
13	1935 昭和10	東京	佐藤梅太郎 (合資参与総務課長)	後藤 長(中京・重工) 決勝は5→3セットマッチへ	20	関東 10-5
14	1936 昭和11	神戸	玉井喬介 (重工社長)	石井小一郎(関東・地所)	21	関西 8-6, 1分
15	1937 昭和12			中止	22	
16	1938 昭和13	東京	間 四郎 (電機常務取締役)	志村彦七(中京・重工)	23	関西 8-7
17	1939 昭和14	名古屋	後藤直太 (重工取締役)	志村彦七(中京・重工)	24	雨天中止
18	1940 昭和15	東京	間 四郎 (電機常務取締役)	中野文照(関東・鋼材) <ダブルス>熊谷一彌・関沢房豊	25	関西 9-6
19	1941 昭和16			中止	26	中止
20	1942 昭和17	東京	間 四郎 (電機常務取締役)	林 新緑(関西・電機) <ダブルス>田村亮・扇山忠男	27	記録なし

II. 復活後

回数	年度	開催地	委員長	HI盃	140才 トーナメント	120才 トーナメント	女子 ダブルス	東西対抗試合
1	1952 昭和27	東京	石黒俊夫 (本社精算人)	藤倉五郎 (金商)	100才→	岩崎彦彌太・ 山岸成一		関東 10-3, 3分
2	1953 昭和28	神戸	藤井深造 (新重工社長)	藤倉五郎 (金商)		住友・池上 (電機)		関東 13-6
3	1954 昭和29	名古屋	高杉普一 (電機社長)	藤倉五郎 (金商)		富田・河尻 (金属・金商)		関東 19-5
4	1955 昭和30	東京	石黒俊夫 (地所社長)	藤倉五郎 (金商)		西・神田 (商事・海上)		関西 18-12
5	1956 昭和31	大阪	古村誠一 (金属鋳業社長)	藤倉五郎 (金商)		西・服部 (商事・新重工)		関西 19-13, 1分
6	1957 昭和32	東京	高垣勝次郎 (商事社長)	藤倉五郎 (金商)		藤島・森野 (銀行・海上)		関東 21-17
7	1958 昭和33	大阪	伊藤保次郎 (鋳業社長)	寺岡健吾 (化成)	105才→	石井・高萩 (地所・鋳業)		関西 23-14
8	1959 昭和34	東京	佐藤 尚 (造船社長)	石黒 修 (電機)		雨天中止		雨天中止
9	1960 昭和35	東京	桜井俊記 (重工社長)	石黒 修 (電機)		鈴木・山岸 (金属・商事)		関西 21-17
10	1961 昭和36	東京	柴田周吉 (化成社長)	石黒 修 (電機)		石井・武井 (地所)		関東 24-21
11	1962 昭和37	大阪	浜川友十郎 (倉庫社長)	石黒 修 (電機)		樋口・古矢 (銀行)		関東 23-22
12	1963 昭和38	東京	宇佐美 洵 (銀行頭取)	石黒 修 (電機)	110才→	中山・山岸 (金属・商事)		関東 26-19
13	1964 昭和39	東京	藤岡信吾 (石油社長)	石黒 修 (電機)		大淵・塚田 (地所)		関東 29-18
14	1965 昭和40	東京	千頭暎臣 (信託社長)	藤井道雄 (電機)		山岸・柴田 (商事・化成)		関東 27-23
15	1966 昭和41	大阪	藤野忠次郎 (商事社長)	藤井道雄 (電機)		樋口・一法師 (銀行・商事)		関東 36-17
16	1967 昭和42	東京	河野文彦 (重工社長)	山岸 孝 (明生)		浅田・塚田 (銀行)		関東 41-18
17	1968 昭和43	東京	野村義門 (重工顧問)	山岸 孝 (明生)		大藤・山岸(二) (セキ・商事)		関東 36-22
18	1969 昭和44	東京	有吉義彌 (郵船社長)	藤井道雄 (電機)		岩倉・山岸(二) (郵船・商事)		関東 39-28
19	1970 昭和45	東京	牧田与一郎 (重工社長)	山岸 孝 (明生)		堤・塚田 (銀行)		関東 33-24, 13
20	1971 昭和46	東京	田実 涉 (銀行会長)	大日方昭太 (海上)		岡本・三好 (金属)		関東 42-28
21	1972 昭和47	東京	藤野忠次郎 (商事社長)	藤井道雄 (電機)		河尻・藤倉 (金商)	島野・青井 (海上・重工)	関東 43-31
22	1973 昭和48	東京	中田乙一 (地所社長)	山岸 孝 (明生)		雨天中止	原・市井 (海上)	雨天中止
23	1974 昭和49	東京	古賀繁一 (重工会長)	宮川善文 (大日)		雨天中止	小島・塚本 (電機)	雨天中止
24	1975 昭和50	東京	古賀繁一 (重工会長)	辻本 豊 (レイヨン)		田中・寛 (重工)	島野・塚本 (海上・電機)	関東 41-35, 1分
25	1976 昭和51	東京	古賀繁一 (重工会長)	有沢三治 (油化)		雨天中止	島野・塚本 (海上・電機)	雨天中止
26	1977 昭和52	東京	古賀繁一 (重工相談役)	藤井道雄 (電機)		北岡・高橋 (電機)	針谷・中井 (重工)	関東 54-28
27	1978 昭和53	東京	古賀繁一 (重工相談役)	藤井道雄 (電機)	115才→	関口・西尾 (重工)	三枝・堀毛 (電機)	関東 44-37, 1分
28	1979 昭和54	東京	古賀繁一 (重工相談役)	藤井道雄 (電機)		御供・林田 (重工・製鋼)	西浦・三枝 (電機)	関東 49-33
29	1980 昭和55	東京	古賀繁一 (重工相談役)	小柳健一 (商事)		吉岡・佐久間 (セキ・重工)	作山・植村 (化成)	関東 41-20, 21分

回数	年度	委員長	HI盃	140才 トーナメント	120才 トーナメント	女子 ダブルス	男子 ダブルス	東西 対抗戦	
30	1981 昭和56	古賀繁一 (重工相談役)	小柳健一 (商事)		櫛原・古賀 (化成・樹脂)	作山・植村 (化成)		関東 49-33	
31	1982 昭和57	田部文一郎 (商事会長)	武田 彰 (商事)	130才↓	中野・高橋 (電機)	島野・今井 (海上・重工)		関東 40-37, 5分	
32	1983 昭和58	田部文一郎 (商事会長)	辻本 豊 (レイヨン)	安川・吉岡 (キャタ)	北岡・中野 (電機)	島野・今井 (海上・重工)		関東 33-27, 22	
33	1984 昭和59	田部文一郎 (商事会長)	辻本 豊 (レイヨン)	末延・関口 (重工)	妹尾・青木 (銀行)	島野・今井 (海上・重工)		関東 47-34, 1分	
34	1985 昭和60	田部文一郎 (商事会長)	辻本 豊 (レイヨン)	小西・富取 (銀行)	原田・佐久間 (商事・重工)	島野・今井 (海上・重工)		関東 48-34	
35	1986 昭和61	田部文一郎 (商事会長)	沢 英樹 (化成)	関口・高田 (重工)	御供・青木 (重工・銀行)	島野・今井 (海上・重工)		関西 46-38	
36	1987 昭和62	鈴木永二 (化成会長)	沢 英樹 (化成)	原田・川崎 (商事・石油)	高橋・鈴木 (電機)	島野・今井 (海上・重工)		関東 46-37	
37	1988 昭和63	鈴木永二 (化成会長)	昭和天皇御病気の為中止						
38	1989 平成元	鈴木永二 (化成会長)	岩原慎二 (化成)	川崎・筧 (石油・自工)	貴志・庄野 (化成)	芥川・善積 (化成)		関東 45-39	
39	1990 平成2	鈴木永二 (化成会長)	辻本 豊 (レイヨン)	原田・上田 (商事)	豊福・金子 (化成・郵船)	芥川・善積 (化成)		関東 50-31, 3分	
40	1991 平成3	飯田庸太郎 (重工会長)	藤井 淳 (商事)	古賀・櫛原 (化成)	瀬口・須藤 (化成・重工)	佐野・溝口 (化成・海上)		関東 28-21, 35	
41	1992 平成4	飯田庸太郎 (重工会長)	藤井 淳 (商事)	坂尾・伊丹 (キリン)	瀬口・福井 (化成)	佐野・溝口 (化成・海上)		関東 49-29, 6分	
42	1993 平成5	飯田庸太郎 (重工会長)	辻本 豊 (レイヨン)	山田・宮本 (アルミ)	青木・荒木 (銀行)	善積・溝口 (化成・海上)		関東 52-32	
43	1994 平成6	飯田庸太郎 (重工会長)	田村太郎 (商事)	川崎・上田 (石油・商事)	山口・高見 (レイヨン)	前田・早川 (化学)		関東 38-28, 18	
44	1995 平成7	飯田庸太郎 (重工相談役)	杉本長太郎 (化学)	雨天中止	雨天中止	金子・坂田 (明生)		雨天中止	
45	1996 平成8	飯田庸太郎 (重工相談役)	渡辺 啓 (化学)	伊丹・好士 (キリン)	山守・田中 (化学)	金子・坂田 (明生)		関東 47-37	
46	1997 平成9	藤村正哉 (マテリアル会長)	長谷川 寛 (電機)	雨天中止	雨天中止 120才↓	渡辺・工藤 (明生)		雨天中止	
47	1998 平成10	藤村正哉 (マテリアル会長)	古村賢紀 (電機)	川崎・櫛原 (石油・化学)	小杉・大日方 (銀行)	渡辺・杉山 (明生)		関東 52-32	
48	1999 平成11	藤村正哉 (マテリアル会長)	塚原 識 (銀行)	花岡・沼田 (電機)	浦中・梅沢 (化学)	瀧澤・小柳 (化学)		関東 49-34, 1分	
49	2000 平成12	藤村正哉 (マテリアル会長)	塚原 識 (銀行)	平岡・土肥 (重工・電機)	初澤・池田 (電機)	瀧澤・小柳 (化学)		関西 42-41, 1分	
50	2001 平成13	藤村正哉 (マテリアル相談役)	古村賢紀 (電機)	沼田・榊井 (電機)	岡崎・石山 (石油)	瀧澤・小柳 (化学)		関東 47-27	
51	2002 平成14	藤村正哉 (マテリアル相談役)	塚原 識 (銀行)	宮田・須藤 (重工)	瀧口・梅沢 (化学)	瀧澤・小柳 (化学)		関西 41-31	
52	2003 平成15	藤村正哉 (マテリアル相談役)	古村賢紀 (電機)	宮田・竹部 (重工・キリン)	神田・小杉 (銀行)	瀧澤・小柳 (化学)		関西 26-20	
53	2004 平成16	岸 暁 (銀行相談役)	古村賢紀 (電機)	雨天中止	雨天中止	今城・吉井 (海上)		雨天中止	
54	2005 平成17	岸 暁 (銀行相談役)	古村賢紀 (電機)	池田・片寄 (電機)	毎野・西 (商事)	安井・星 (生命)		関東 28-23	
55	2006 平成18	岸 暁 (銀行相談役)	古村賢紀 (商事)	佐伯・津田 (SCM・重工)	出口・近藤 (重工)	市川・原 (海上)	江頭・塩谷 (生命)	関東 16-9	
56	2007 平成19	岸 暁 (銀行相談役)	前田信二 (銀行)	瀧口・高見 (化学・レイヨン)	藤井・吉田 (電機)	深田・清水 (銀行)	武井・若月 (銀行)	関西 19-6	
57	2008 平成20	岸 暁 (銀行相談役)	中原健一郎 (商事)	若菜・茅本 (重工・化学)	鈴木・君塚 (海上)	安井・伊藤 (生命)	黒崎・鳥山 (商事)	関西 14-11	
58	2009 平成21	井手明彦 (マテリアル社長)	藤田瑞飛 (生命)	出口・淀川 (重工)	瀧口・矢野 (化学)	古賀・加藤 (生命)	細江・佐藤 (生命・海上)	関東 13-12	

回数	年度	委員長	HI盃	女子 シングルス	140才 トーナメント	120才 トーナメント	女子 ダブルス	男子 ダブルス	東西 対抗戦
59	2010 平成22	井手明彦 (マテリアル会長)	藤田瑞飛 (生命)		近藤・淀川 (重工)	小野・赤沼 (硝子)	伊藤・五十嵐 (生命)	渡辺・瀬野 (電機)	関西 13-12
60	2011 平成23	井手明彦 (マテリアル会長)	藤田瑞飛 (生命)		高橋・金子 (硝子)	後藤・古屋 (電機)	古賀・松重 (生命)	星村・狩谷 (生命)	関東 16-9
61	2012 平成24	井手明彦 (マテリアル会長)	藤田瑞飛 (生命)		東・淀川 (重工)	伊藤・矢野 (化学)	五十嵐・鍋谷 (生命)	星村・狩谷 (生命)	関西 13-12
62	2013 平成25	井手明彦 (マテリアル会長)	福田健司 (電機)	140才→	東・田中 (重工)	赤沼・本間 (硝子)	五十嵐・鍋谷 (生命)	廣田・横山 (電機)	関西 11-8
63	2014 平成26	井手明彦 (マテリアル会長)	田川翔太 (海上)	鍋谷昌栄 (生命)	田中・永田 (重工)	近藤・矢野 (化学)	奥間・関 (銀行)	神谷・星野 (キリン)	関西 11-8
64	2015 平成27	井手明彦 (マテリアル相談役)	古田陸人 (マテリアル)	木川里奈 (生命)	織田・藤井 (商事・電機)	堀田・多屋 (海上)	松田・泉水 (生命)	駒田・廣田 (電機)	関東 12-11
65	2016 平成28	井手明彦 (マテリアル相談役)	田川翔太 (海上)	松本千広 (生命)	江口・近藤 (化学)	本間・半田 (硝子)	松田・泉水 (生命)	上村・尾形 (生命)	関東 16-9
66	2017 平成29	大宮英明 (重工会長)	田川翔太 (海上)	松本千広 (生命)	雨天中止	雨天中止	雨天中止	高山・野田 (生命)	雨天中止
67	2018 平成30	大宮英明 (重工会長)	田川翔太 (海上)	田中文彩 (生命)	東・前田 (重工・ケミカル)	宮川・伊藤 (重工)	本郷・森 (生命)	高山・野田 (生命)	関東 13-10
68	2019 令和元	大宮英明 (重工相談役)	台風影響により中止						
69	2020 令和2	大宮英明 (重工相談役)	COVID-19影響により中止						
70	2021 令和3	大宮英明 (重工相談役)	COVID-19影響により中止						
71	2022 令和4	大宮英明 (重工相談役)	田形諒平 (生命)	足立真美 (生命)	大塩・茂木 (銀行)	牧村・間野 (重工)	米原・清水 (生命)	浦上・井上 (海上)	中止
72	2023 令和5	大宮英明 (重工相談役)	田形諒平 (生命)	足立真美 (生命)	田畑・牧村 (重工)	福田・間野 (重工)	米原・清水 (生命)	安上・名越 (海上)	関東 10-3

注. 第30回大会以降の開催地はすべて東京